

野沢温泉&戸狩温泉スキー報告

期 日 : 2018年 1月20日(土)~21日(日)

参加者 : CL柘植(記録)、杉山、小俣、渡辺純

報 告 :

1/20(土) 野沢温泉スキー 快晴



野沢温泉スキー場は柘植は昨シーズン初めて行ったが、そのスケール感・楽しさに痺れてしまい、今期のスキープランにまた組み入れた。事前の天気予報は土曜日が良く、日曜は今一つだったので、野沢温泉スキー場を条件のよい土曜に滑るべく、千葉を3時前に出発した。明るくなってくると天気は快晴で胸がワクワクする。民宿には事前に早く着くことを知らせておいたので、8時過ぎに到着、部屋で着替えさせてもらって

リフト運行開始の8:30すぎにゲレンデに向かう。野沢温泉スキー場は上図のように毛無山を頂点に扇形に広がり、上級から初級まで多彩なコースを楽しめる。



ゲレンデ上部

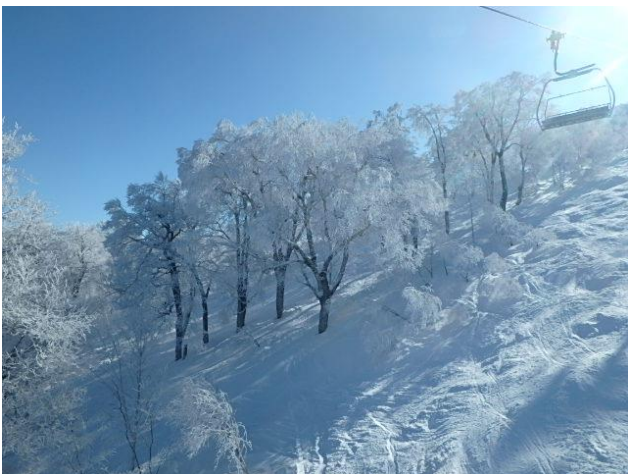
我々は渡辺純子さんを除いてはみな中級レベルなので、上級コースには（純子さんには悪いが）行かないことにして、赤線コース（中級向き）と緑線コース（初級向き）の制覇を目指す。



杉山さん



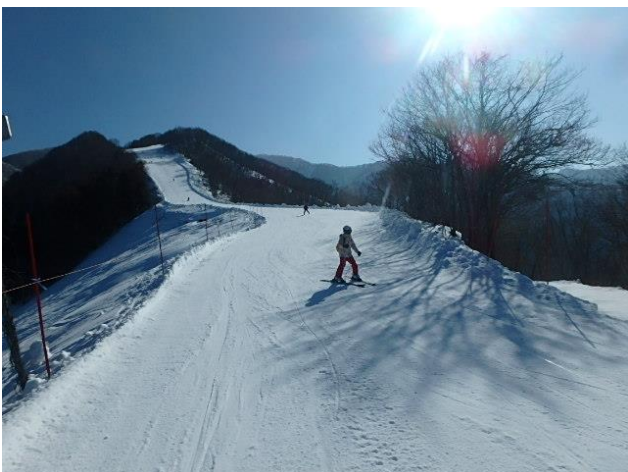
小俣さん



樹氷がきれい



妙高～火打が背後にバッチリ



長大なスカイラインコースを滑る



同左（正面が戸狩温泉スキー場）

午後の半ばで林道コースを滑っていたときに小俣さんが転倒、軽い捻挫のようで、大事をとってレストハウスで休憩してもらい、残りのメンバーで課題をこなしていく。純子さんが思い出のシュナイダーコース（上級）を滑ってみたいというリクエストにお供し、今回唯一の上級コースに向かい、なんとかこなすことができて密かに自己満足を感じた。夜はいつものように宿で温泉⇒宴会⇒夕食のフルコー

スをこなすが、みんな今朝は早起きだったので、19：30には寝てしまった。

1/21(日) 戸狩温泉スキー 快晴(終了して入浴中にみぞれ)



6時半起床。なんと11時間も寝てしまった。戸狩温泉スキー場は千曲川をはさんで野沢温泉スキー場のちょうど反対側に位置している。野沢温泉と比べると小振りだが、半日を遊ぶにはちょうどよいサイズと思い、今回のプランに組み入れた。リフト券もWeb早割でかなり安く手に入れており、朝野沢温泉の民宿を出て30分もかからずにゲレンデ前に到着する。今日は予定では曇りメインだったのだが、意外や快晴。なんて恵まれた二日間だろう。小俣さんは痛みが残っているということで無理せず、本日もお休み。レストランと風呂で時間を潰してもらい、残りの3人でゲレンデに向かう。本日もまた全リフト&全コース制覇を目標に滑りまくる。結構調子が出てきたので純子さんに率いられて上級コースにもチャレンジし、閉鎖されているコースを除いて、全コースを滑ることができた。



前夜の民宿の夕食風景



戸狩温泉スキー場の最上部



バックは木島平スキー場のある高社山

渡辺純さん

柘植の印象としては戸狩温泉スキー場は野沢温泉スキー場をそのままコンパクトにしたような感じで、規模は中くらいだが変化に富んでおり、お薦めのスキー場という感じだ。14 時くらいまで滑るつもりであったが、膝はガクガク、足はパンパンという状況になってきたので、13 時半くらいに切り上げた。天候はいつのまにか曇りに変わっていた。小俣さんが待っている暁の湯で入浴し出してみるとビックリ、外は激しいボタン雪だ。我々は本当によいときに切り上げたものだ。一路豊田飯山 I C に向かうが、この急な悪天にみなスキーを切り上げたのか、下道は結構な渋滞。地図で見ると、木島平スキー場や斑尾高原スキー場からのスキー客がこの道路に流れ込んでくるようだ。ただ高速に乗ると特別渋滞もなくスムーズに帰れた。スキー場は野沢も戸狩もさほど混んでおらず、帰りのそれほど混んでない道路もありがたいのだが、スキー人口の減少を感じさせられる。ちょっと複雑な気分ではあるが、今シーズンはこれからが本番、まだまだ行くぞ！という決意を新たにした。

山行報告；柘植